

第13回 中皮腫細胞診セミナー in OSAKA

メインテーマ「中皮腫細胞診断に関する最新の知見と技術」

会期

2018年10月6日（土）・7日（日）

会場

1日目（講演） 大阪医科大学看護学部講堂
2日目（実習） 大阪医科大学医学部実習室

代表世話人

河原 邦光

大阪はびきの医療センター 病理診断科

世話人

廣瀬 善信

大阪医科大学医学部 病理学教室/附属病院病理部・病理診断科

事務局代表

大西 雅子

大阪はびきの医療センター 病理診断科

主催

中皮腫細胞診研究会

後援/大阪府臨床細胞学会、大阪府細胞検査士会
※平成30年7月1日（日）9:00～ 募集を開始いたします。
詳細は、中皮腫細胞診研究会ホームページに掲載します。

第13回中皮腫細胞診セミナー in OSAKA プログラム

メインテーマ『中皮腫細胞診断に関する最新の知見と技術』

1日目 (10月6日) 12:50~18:00

講演1 漿膜の構造と中皮細胞の刺激に対する多彩な挙動

公立学校共済組合関東中央病院 岡 輝明

講演2 中皮腫の診断と鑑別に有用な細胞所見 (免疫組織化学も含めて)

東北大学病院 三浦 弘守

講演3 胸膜中皮腫の病理組織像~WHO・肺癌取り扱い規約第8版をふまえて~

東京女子医科大学八千代医療センター 廣島 健三

講演4 胸膜中皮腫の胸腔鏡所見

(スペシャルセミナー)

大阪はびきの医療センター 岡本 紀雄

講演5 中皮腫診断に役立つ免疫組織化学用一次抗体の最新情報

(スペシャルセミナー)

ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社 谷 洋一

講演6 中皮腫細胞診におけるPI6FISH・BAP1検査の実際

福岡大学病院 松本 慎二

講演7 セルブロックのup to date

公立昭和病院 濱川 真治

講演8 体腔液細胞診におけるLBCの有用性ー術中迅速検体も含めてー

国立病院機構北海道がんセンター 平 紀代美

講演9 中皮腫診断におけるギムザ染色の有用性~Giemsa染色の理論と細胞像~

神戸常盤大学 島 榮

2日目 (10月7日) 8:45~12:40

- ・細胞所見に関するミニレクチャー
- ・鏡検実習 (15題)
- ・実習症例のグループディスカッション

※上記の講演の演題名は変更の可能性があります。